

県北地域感染症情報レター(H28年度第11号)

「県北地域感染症情報レター」に関する御意見、御質問等につきましてはメールにて返信くださるようお願いいたします。
 県北保健福祉事務所生活衛生部医療薬事課 メールアドレス hofukunet_kenpoku@pref.fukushima.lg.jp

感染症発生動向調査 週報 ! 県北地域情報! (2月16日発表)

- ・インフルエンザは、県内全域で流行が続いています。国内のインフルエンザウィルスの検出状況は、直近の5週間(2017年第1週~第5週)ではAH3亜型の検出割合が最も高く、次いでB型(ビクトリア型)、B型(山形系統)、AH1pdm09の順となっています。
- ・咽頭結膜熱の小流行が続いています。
- ・県内全域でA群溶血性レンサ球菌咽頭炎の小流行が続いています。

H29年3月1日~3月7日は、こども予防接種週間です!

予防接種について

お子さんは何歳ですか? 予防接種はお済みですか?

◎定期接種(A類)のワクチン(原則公費負担で接種が受けられます)

ワクチン	対象者	標準的な接種期間	接種回数	
B型肝炎	1歳に至るまでの者	生後2月~9月	3回	
Hib感染症	生後2月~生後60月に至るまでの者	・初回開始...生後2月~7月 ・追加開始...初回終了後7月~13月の間隔を置く	4回~1回 ※1	
小児用肺炎球菌	生後2月~生後60月に至るまでの者	・初回開始...生後2月~7月 ・追加開始...生後12月~15月	4回~1回 ※2	
四種混合 (ジフテリア、 百日咳、 破傷風、 ポリオ)	第1期初回	生後3月~生後90月に至るまでの者	生後3月~12月に達するまで	3回
	第1期追加	生後3月~生後90月に至るまでの者	第1期初回終了後12月~18月の間隔を置く	1回
	第2期 (ジフテリア、 破傷風)	11歳以上13歳未満	11歳に達した時から12歳に達するまで	1回
BCG(結核)	1歳に至るまでの者	生後5月~8月に達するまで	1回	
麻しん風しん	第1期	生後12月~生後24月	平成27年度 福島県の麻しん風しん予防接種率は第1期94.2%(全国43位)、第2期92.2%(全国40位)と低い状況にあります!	1回
	第2期	5歳以上7歳未満で、小学校就学前の1年間		1回
水痘	生後12月~生後36月に至るまでの者	・1回目:生後12月~15月に達するまで。 ・2回目:1回目から6月~12月の間隔を置く	2回	
日本脳炎	第1期初回	生後6月~90月に至るまでの者	3歳~4歳に達するまで	2回
	第1期追加	生後6月~90月に至るまでの者	4歳~5歳に達するまで	1回
	第2期	9歳以上13歳未満	9歳~10歳に達するまで	1回
HPV (ヒトパピローマウイルス)	12歳となる年度の初日~16歳になる年度の末日までの間	13歳となる年度の間(中学1年生)	3回 ※3	

※1,2...接種開始年齢により回数が異なります。 ※3...2価、4価ワクチンがあり、スケジュールが異なります。
 ☆その他、任意接種でロタウイルス、おたふくかぜ、インフルエンザなどの予防接種があります。

◎VPD (Vaccine Preventable Diseases) ~ワクチンで予防できる病気~

世界には様々な感染症があり、多くの方がワクチンで防げるはずの病気(VPD)で命を落としたり、重い後遺症を背負ってしまっています。ワクチンをうつことで感染を予防、あるいは感染しても軽症で抑えることのできる病気があります。ワクチンを打って、VPDから大切な命を守りましょう。

◎予防接種に関する間違いについて

予防接種に関する事故報告で最も多いのが「接種間隔の誤り」で、平成27年度中は全国で2991件、事故報告全体の約半数を占めています。県北管内では、平成27年度の事故報告12件中9件、平成28年度(2/16時点)は15件中11件です。予防接種の際には、前回の予防接種は「いつ」「何を」接種したか、慎重に確認をお願いします。